

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都府知事		平成 29年 7月 12日					
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） ㈱DNPテクノパック 取締役社長 宮野 年泰 電話 03-5225-5200					
主たる業種	印刷業（紙以外の印刷業）						
	細分類番号	1	5	1	3		
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第4号						
計画期間	平成26年4月から平成29年3月まで						
基本方針	平成25年度を基準に、平成28年度の温室効果ガス排出量を 2%以上削減する。						
計画を推進するための体制	DNPグループ環境委員会（包装事業部グループ環境委員会）において、平成25年度の平均の排出量を基準年度排出量とする新たな実行計画書の進捗管理を実施する。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	68,696.9 トン	64,104.9 トン	64,445.9 トン	65,848.8 トン	-5.7 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	68,696.9 トン	60,309.0 トン	60,649.9 トン	62,052.8 トン	-11.2 パーセント	
	実績に対する自己評価	冷温水取出しチラーの冬期効率改善（熱交換器設置）、高圧蒸気のこまめな供給体制確立。老朽化吸収式冷凍機及び空調機の更新、エアコン圧縮機の断続運転化、機器の適正な運転管理により排出量削減					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率
	工場	事業活動に伴う排出の量 (生産金額百万円)	3.61	3.42	3.45	3.39	-5.26 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ( )					パーセント
		実績に対する自己評価	省エネ施策等により原単位良好推移。				
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考	
		84.0 パーセント	84.0 パーセント	84.0 パーセント	84.0 パーセント		
具体的な取組及び措置の内容	(26)年度	冷温水取出しチラーの冬期効率改善（熱交換器設置）、高圧蒸気のこまめな供給体制確立。機器の適正な運転管理。					
	(27)年度	老朽化吸収式冷凍機の更新（個別エアコン化・個別クーラー化）、照明のLED化、ユーティリティ設備の見直し（能力低下設備の改善、適正な設定・台数の見極め等）、パトロールによるロス削減。					
	(28)年度	老朽化した空調機の更新、未使用設備の撤去（待機電力の削減）、空調熱源を老朽チラーからヒートポンプチラーに変更、エアコン圧縮機の断続運転化、焼却炉の安定稼働と焼却効率改善による蒸気回収量の増加、75kWコンプレッサー圧縮機更新。					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	自動車による通勤は許可制として許可証を発行。それ以外については、社バス利用や公共機関による通勤。					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	計画通り自動車等許可制にし台数を限定、社バスや公共機関を利用する事が従業員に浸透されている。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	地域産木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>「DOYOUKYOTOプロジェクト?」ライトダウンに登録</li> <li>嵐山的美観保護のためのクリーンキャンペーン実施</li> </ul>						
特記事項	第一計画期間の超過削減量を、第二計画期間の温室効果ガス排出量から次のとおり差し引く。						
	超過削減量	第1年度	第2年度	第3年度			
	11,387.9 トン	3,795.9 トン	3,796.0 トン	3,796.0 トン			
	取締役社長 宮野年泰の委任（委任状提出）を受け工場長の本田将彦が提出いたします。						

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。  
 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。  
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。  
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。  
 5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。